

起案郵紙

大正八年四月七日起案
 起案者 捺印 西 月十八日發付
 發付掛 捺印

主務 艦政局長

副官

小林

第二課

第三課

第五課

軍務局長

第一課長
 第二課長 小拔

機關局長

技術本部長

第四部

第五部

經理局長

第一課長

副官

大正八年四月十八日

吳佐邦鎮長官宛

修理用罐官準備件

其ノ存ニ取ラセテ

号

軍艦明石及軍艦千歳

官房第一三二號

軍令	水路	臨建	教育	遣兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	船部

子
 3.4.14
 文接
 案者捺印
 發付後起
 案者捺印
 發月日

1169

艦般名手軍艦出雲及馬込艦桃柳檉 <small>(檉)</small> 舞下軍艦日	進修理用トシテ左記ノ通罐宮長ヲ準備セシムバシ	但ニ費用ハ臨時軍車費、造船兵及修理費支辨トシ	請求ヲ俟テ配付ス	右訓令ス	(吳ハハ) 左記	艦名 罐管準備數量	全 部	外徑 一吋四分一 三〇〇本 内徑 一吋二分一 一七〇〇本	(佐ハハ) 艦名 罐管準備數量	收執管 二、三〇〇本	艦名 手 同 右 二、三〇〇本	出雲 同 右 二、三〇〇本
--	------------------------	------------------------	----------	------	----------	-----------	-----	---------------------------------	-----------------	------------	-----------------	---------------

(報文社印)

大正八年四月廿六日起案

起案者 捺印

八位

四月廿二日發付

捺印

發付後起

案者捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

主務 艦政局長

副官

第二課長

官房

局部

四月廿二日發付

大臣

副官 小林

第三課長

官房

局部

四月廿二日發付

次官

參事官

第五課長

官房

局部

四月廿二日發付

技術本部長

第四部長

第五部

官房

局部

四月廿二日發付

軍務局長

第二課長

第一課長

官房

局部

四月廿二日發付

經理局長

第一課長

局員

官房

局部

四月廿二日發付

大正八年四月二十二日

吳鎮司 今 花 守 丸

軍医船膠州汽機測深器一件

軍医船膠州汽機測深器中水路部備品汽機測深器壹台

官房第一三九五號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技木	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部

本技 8.4.17 受接

經理局授受 4 8.4.22 船隊

本技 8.4.19 受接

8.4.17

三政艦 8.4.17 受接

艦政二課 4.17

1173

4.18

取付方其府工廠ヲシテ工事施行也ト入
但測探器ハ任務終了後取外シ蒸気管ハ其儘ト云
招訓令云
費用ハ臨時軍事費支弁ト云

(終)

官房第一

五五五五

大正八年四月二十三日

次
元

水路部
元丸

軍医船膠州汽機測探器ノ件

本件ニ関シ別紙ノ通吳鎮守府司令官元丸ハ訓令其事矣

各站皆即了知其事ト云

右通牒云

(別紙一葉係)

(終)

明治印刷

軍務局

第二課

大正八年四月五日

水路部測量科

軍務局接受

8. 四十七日

8. 4. 15

移牒

艦政局

日本海軍省軍務局局長殿

第二課

膠州汽機油深器取付工事

本件之區別紙、如、吳海軍工廠、照會有之候處

從來測深器取付工事、蒸汽管及其取付工事ハ船

體トシテ工廠、手ヨリ測量艦船ノ取付方施行致シ接

リシ迄方ニツキ、右註議、上可、然、依、慮、於、極、度

右、依、頼、ス

(別紙寫臺葉係)

(了)

軍第一七七號

四

艦政船第

四

號

一八一二

(矢野樹)

1175

4. 10



校
印

皇工部三辨一四二

大正八年四月十日

皇海軍工廠

水陸部

海軍

膠州汽機部修理部任工事之圖件

右封別式一通、膠州汽機部修理部任工事之圖件、

貴部より貴廠に依りて、依批工事、右封別式、

考せし、候条、案、右封別式、

右照會云

別式一通係

了

海
軍

〔矢野納〕



膠州第九師三二

大正四年三月三日

膠州指揮官

吳工部長官

修理請求一件

一汽機修理留取工事

志ヶ所

右請求不

修理費計書三月十日水陸部より送附され送附音面通知あり

タリ

吳工部三三三九八

吳工部横道三三三二二

(矢野樹)

海軍

起案罪紙

大正八年四月十九日

大正八年四月十九日起案
 起案者 八位
 二月廿三日發付
 發付部 八位
 發付後 八位
 案者除印 八位

主務 艦政局長

第二課長

大臣

次官



副官 小林

第四課長



技術本部長



第四部

副官



山本

軍務局長



第二課長 小坂

第一課長 山梨

局員



經理局長



第二課長

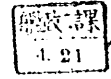


軍令	水路	臨建	教育	造兵	技術	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	官房	局部
												軍務局 官房 8.4.21	受月日 4.21 發月日



經理局 4.21
 8.4.23
 31. 4. 18. 5.

1178



大正八年四月二十三日

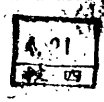
九月

四月廿三日 午後二時

運送船陽州海北のタリニ清水取入装置其府工廠ヲ
 施行セシムル費用ハ臨時軍事費支弁トス

免監司令官宛に (電送案)

官房第一〇六號



軍務局長

第三課長

海軍

局發

大正八年四月十八日 午前九時三十分 東京 局著

発信者

膠州指揮官

軍務局接受

受信者

軍務局第二課長

8. 四十八日

移 煤



電報譯

測量任務中武蔵大和ノ豫備給水トナス為
本船海水タンクニ管ヲ取付ケ清水ヲ入レ得
ル様ニナス工事ニ関シ再三交渉セシモ 軍務局
ヨリ呉工廠宛通知ナケレハ施行セストノコトニ付
可也 張取計ヲ乞フ

(真正印刷)

1180

紙 箋 附

本件必要ありしを

大正八年四月

海軍省

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

印刷納

軍	號	者	務局接受	四月十八日	為	得	局	二付
---	---	---	------	-------	---	---	---	----

1180

紙 箋 附

大正八年四月十八日

海軍省軍務局

取付必要の書類を
至急取り出す
に付

為

1181

手紙係行

大正八年六月五日 起案者 八住 六月六日 發付掛 發付後起 案者捺印

主務 郵政局長



第二課長

大臣

次官



參事官

第五課長

軍務局長



第一課長 第二課長

局員

經理局長



第一課長

局部	受月日	發月日
官	署	長
軍務	官	長
人事	官	長
艦政	官	長
機關	長	
醫務		
經理		
法務		
技本		
造兵		
教育		
臨建		
水路		
軍令		

大正八年六月六日 大臣

樞密司令定 宛在

軍紀最上等機測探器 振付件

軍紀最上等機測探器 振付件 其ノ府工廠

號番

官房第二〇二〇號

毎

毎

軍務局

本件水 者るる

施行せしむ

但し測深器ハ水路部ニテ本帳ニ送付せし入費ハ臨時
軍事費支弁ト別途配付ニ際算額部送し

如訓令云

(別紙)

官房第一〇二九號

一九〇八年六月六日 大臣

陸軍省令第九九号

軍帳最上ニシテ機測器送付ノ件

本件ニ関シ別紙ノ通 梅田大蔵守府司令官ニテ訓令

免条始旨心得ス

如訓令云

(別紙)

(別紙)

明正印刷

起案郵紙

大正八年六月四日起案

六月十三日發付

(主務) 艦政局長

第三課 (風間)

副官

小林

第三課

(岡田)

事務官

(大)

第五課

(中)

(山)

(山)

(山)

技術本部長

(山)

第五課

第四課

(山)

(山)

(山)

(山)

(山)

(山)

(山)

機關局長

局員

(山)

(山)

(山)

(山)

村瀬

山本

山本

山本

大正八年六月十三日

大

臣

横鎮長官宛

軍艦春日、御法川式火床機裝備件

其ノ府工廠ヲシテ復旧修理中ノ軍艦春日後罐室六罐ニ御法川

官房第二三五號

發付後起

案者捺印

6.12

6.6

6.5

8.6.6

1185

8.6.6

0.4

式火床機ヲ裝備セシムベシ尚詳細海軍省艦政局長ヲシテ
其ノ府工廠長ノ通牒セシム
右訓令ス

官房第二二五號

大正八年六月十三日

舞鎮長官宛

軍艦春日御法川式火床機裝備件

本件ニ関シ別紙寫ノ通横須賀鎮守府司令長官ニ訓令候條

此旨心得バシ

右通達ス

別紙一葉添

經

經

(印及)

大正八年五月廿八日起案

起案者 捺印 小西

五月廿九日發付

發付掛 捺印

小林

發付後起 案者捺印

起案紙甲

3.5.21

三政 8.6.1

主務 艦政局長

岡田

第三課長

小西

副官

佐原

第二課長

岡田

岡田

次官 參事官

竹田

第五課長

岡田

岡田

軍務局長

岡田

第一課 第二課

小西

局員

岡田

岡田

岡田

經理局長

勝

第一課長

久野

岡田

機關局

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

岡田

大正八年五月十八日

大臣

大湊要港部司令官宛

至急電報刊行案

五月廿九日發電

大和艦修理大至急工事ヲ施行シ竣工致ル取決メ報告

號番

承

全

1187

*Ker

スルニ費用ハ臨時軍事費艦艇造修費支弁トス

官房第

一六三號

大正八年五月二十八日

大臣

軍艦大和修理工事ノ件

右件ノ系ニ別紙寫ノ通リ本溪安撫部司令長ハ訓令ハ系狀

旨ニ得ル

右通達ス

別紙寫一系係

終

終

(報文社印)

起案部紙

大正八年六月六日起案

起案者 徐印小西

六月二十日發付

發付掛 徐印

發付後起 案者徐印

小西

(主務) 艦政局長

岡田

大臣

副官

小林

次

參事官

中

技術本部長

樽田

軍務局長

吉

機關局長

川

經理局長

勝

先

軍令部長

大正八年六月

次

長

樽田

鎮

長

大

南

大

南

大

南

大

南

大

軍艦出雲、電動機附小型旋盤供給取止件

大正七年九月官房第三四六號訓令電動機附小型旋盤

官房第三一號

軍令	水路	艦建	教育	造兵	技術	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
六十七													官房	局部

技本 8.6.21 部

8.6.13

8.6.10

8.6.9

8.23 技四

8.6.16

1189

8.7

軍艦出雲、供給方取止、出師準備用トテ其ノ府工廠ヲ
シテ保管セルヤハシ

但シ右ハ工業用機械トシテ常時供用差支ナキ儀心得バ

右訓令ス

（印）

官房第二三一號

大正八年六月二十四日

大臣

第二特務艦隊司令官宛

軍艦出雲、電動機附小型旋盤供給取止件

本件商シ別紙寫ノ通横須賀鎮守府司令長官ノ訓令

候條此旨心得ハシ

右訓令ス

（報文社印）

別紙 一葉添

官房第二三一號

大正八年六月二十日

佐鎮長官宛

臣

軍艦出雲電動機附小型旋盤供給取止件
本件ニ關シ別紙寫ノ通横須賀鎮守府司令長官訓令候
條此旨心得下シ

右通達ス

別紙 一葉添

理由

其ノ特務艦隊就役以來本艦ニ固有ノ工業機械外ニ電

勤棒一附小型旋盤一其至轆轤一又棒械一其至同カッター研磨
 棒械一其至臨時増備セラレアリ、同盤ハ迄ク本邦ニ帰着スルヲ以
 テ更ニ其至増備スル必要ナシト認ムルニ付

號番

官房第二五七號

軍機津輕火藥庫冷却裝置新設方別紙

大正八年七月十五日

檢査員 今友 允 丸

九

三技計畫

6.28

主務 總政局長

副官

參事官

技術本部長

軍務局長

經理局長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第四部

第三部

第二部

第一部

副官

局長

前田

三浦

三浦

三浦

三浦

三浦

三浦

三浦

大正八年七月十五日 日起案 起案者 捺印

七月十九日 發付 發付書 捺印

發付後起 捺印

8.6.30 受接

8.7.4 受接

8.6.29 受接

8.6.27 受接

8.6.25 受接

8.6.23 受接

8.6.21 受接

8.6.19 受接

1193

經理局接受 8.7.12

因西ニ依リ其ノ府工廠ヲシテ工事施行セム其ノ工
 事方案ハ各年十月十三日附核廢工券六九五号ヲ以テ
 其ノ府工廠長ヨリ技師本部長ニ送付ノ通トシ費用ハ
 肥後大葉庫改造費 大葉庫^庫本部装置支弁上豫算
 金共貳万九百貳拾四円別途配付ス
 如訓令云

(別表目而四葉 大葉庫本部様 一通)

(終)

明治印刷

本部

第四部
第三部
第五部
第一官

大正七年十月十三日

山中横濱加賀海軍工廠長

長敷

軍務課技師送付件
軍務課技師送付件
軍務課技師送付件

大正六年十月十日
技師送付件
技師送付件

技師送付件
技師送付件
技師送付件

第四部

8.6.14

7.11.14

8.6.27

8.6.3

添付物小包ニ別送
送付物

紙用備附

大正八年六月五日
船政司
本署事務課技師送付件
技師送付件

紙用箋附

大正八年六月五日

海軍技術本部第...部

解の局に下

本署...係書記へ通し訂色工事施行
...係訓令方...行...

紙用箋附

大正八年六月九日

艦政局

郵政局

第二課

第一課

御中 第三課

海軍技術本部

本件...係...部...通...上...
但配給兵器無...

三政推
8.7.17
改務

0.24

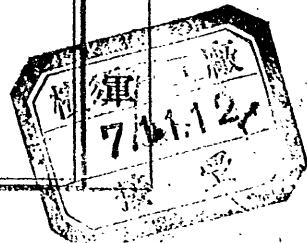
1196

軍艦津輕火藥庫冷却装置新設工事方案並入費概算書

一、工事方案

造船ノ部

海



一、現在ノ火藥庫換氣装置ヲ其儘トシ直接式冷却装置ヲ新設ス

二、火藥格納ハ現在ノ儘トス（凡テ藥夾式）

三、火藥庫内ノ溫度ヲ華氏七拾度以下ニ保ツニ要スル冷却機ノ能力及ヒ庫内敷設冷却管ノ長サノ計算ハ別表ノ通り

四、冷却機ハ「バルソメーター」式トシ前部及中央部火藥庫用ト

シテ英熱量六萬ノモノヲ各壹臺又後部火藥庫用トシテ壹萬ノモノ壹臺計參臺ヲ新規購入ス

五、冷却機ヲ左ノ如ク配置ス

ノ前部火藥庫用ノモノハ前部下甲板兵員室右舷後方ノ一部

2、中央部入艇砲火藥庫用ノモノハ下甲板中央部現在ノ機關科要

具庫ノ右舷半部

3、後部火藥庫用ノモノハ後部下甲板左舷現在ノ士官次室糧食庫

六、而シテ右冷却機据付ノ爲メ占領セラレタル兵員室ノ食卓及衣

囊棚等ハ他ノ空所ニ移轉シ又縮少セラレタル機關科要具庫内ニ

アリシ要具ハ他ノ同種庫内ニ收納セシメテ別ニ補充セス又次室

糧食庫ハ前部上船艙圖面（雜第六五三六號）ノ位置ヲ之レニ充

テ簡單ナル棚等ノ設備ヲナス

七、右冷却機据付甲板ノ薄弱ナル部分ニハ相當ノ補強工事ヲ行フ

八、新設冷却機室エシテ艦風不充分ナル所ニハ相當ナル通風裝置

ヲ設ケ換氣ヲ良好ナラシム

九、冷却機冷却用海水吸入管ハ其附近ニアル「キングストン」ヨリ導キ同排出管ハ直接船外ニ導クモノトス

但シ後部冷却機用ノモノハ新ニ「キングストン」ヲ設ク

一〇、右參臺ノ冷却機ハ内徑貳吋半ノ聯絡管ヲ以テ相連絡ス

一一、前項聯絡管以外ノ「ブラインパイプ」ハ内徑貳吋トス

一二、「ブラインパイプ」ハ引拔鋼管ヲ用ヒ其内面ニハ亞鉛鍍ヲ

施サズ

一三、「ブラインパイプ」ハ「ブライン」ノ循環ヲ良好ナラシム

ル爲メ成ル可ク屈曲ヲ避ケ又蒸汽管ニ隣接シ或ハ高温ノ個所ノ導通ハ絕對ニ避ク

一四、庫内敷設「ブラインパイプ」ノ露水受ハ二听半鋼板製トシ
 庫内空氣ノ循環ヲ計ル爲「ア」露水受ノ許ス限リ多數ノ通風孔ヲ穿
 チ且ツ露水ノ流出ヲ良好ナラシムルタメ溝ヲ設ケ溝ニ對シ一
 呎ニ付四分ノ一時乃至二分ノ一時ノ傾斜ヲ與ヘ溝モ亦水拔管ニ
 對シ同前ノ傾斜ヲ與フ

一五、各「ブラインパイプ」主管及聯絡管ノ最高部ニハ別圖（雜
 第六五三六號）ニ示ス如ク内徑一時ノ空氣及瓦斯拔管ヲ設ケ壓
 力二拾听ノ「レリーフバルブ」ヲ附シ最上甲板マテ導クモノト
 ス

一六、「ブラインパイプ」ハ工事完成後全裝置ニ對シ八拾听ノ水
 壓試験ヲ施行スルモノトス

一七、「フラインパイプ」ノ甲板及隔壁貫通部ハ特ニ傳熱ノ隔離
絶ヲ完全ニナスコト

一八、「フラインパイプ」等ノ防熱

火薬庫外ノ「フラインパイプ」及同用金具等ハ熱氣ノ誘導ヲ防

止スルタメ防熱ヲ施スモノトス防熱材ハ「シリケートコットン

」ヲ用ヒテ厚サ一寸半トシ表面ヲ帆布ニテ被包シ耐水塗料ヲ施

ス

但シ高温ノ個所ヲ通過セル所及聯絡主管ハ防熱材ノ厚ミヲ二寸

トス

一九、火薬庫ノ防熱装置ハ別紙圖面ニ示ス通り施行ス

造船兵部

一、別圖電第八六九二號ニ示ス通り后部發電機室主配電盤ヲ電
 源トシ兩極接斷器「四六〇アンペア」ニ導キ之ヨリ前部中央
 部並后部等ノ各冷却機室ニ至ル電路ヲ圖ニ示ス通り敷設スル
 モハトス電源主配電盤ハ接斷器新設ノ餘地ナキヲ以テ附近適
 當ノ位置ニ木板ヲ取り付ケ之ニ標示燈及兩極接斷器ヲ附シ配
 電盤トシテ使用ス

二、所要兵器ハ別紙ヲ通り配給ヲ受クルモノトス

造機部

一、型式及臺數

パルソメーター式

參臺

内譯
 六萬英熱量ノモノ 貳臺
 壹萬英熱量ノモノ 壹臺

所要兵器明細表

所

海軍

品名

数量

記

事

兩極接斷器「四六〇アンペア」

壹個

配

給

備

標示燈

壹個

同

備

電路接續装置

壹個

同

備

備考 電動機同配電盤並ニ附属器具ハ冷却機附属ハモバトシ

テ物記セス

1204

海軍

軍艦津輕圖書目錄

圖書番號	圖書名稱	數量
出書第 二四七九號	津輕第拾壹回重量増減表	壹葉
同 出書第 二四八〇號	同 火藥庫冷却機能力計算書 (船内側面及 上中甲板平面)	貳部
同 出書第 六五三五號	同 火藥庫冷却裝置圖 (下甲板及 以下諸平面)	貳葉
同 出書第 六五三六號	同 火藥庫防熱裝置之圖	二葉
出書第 六五三七號	同 火藥庫冷却機増設ニ伴フ電動機 式葉	貳葉